

エコアクション 21

2023年度 環境経営レポート (NO, 17)

(2023年 6月 ~ 2024年 5月)



快適な水廻りをご提案



給排水設備 設計施工
有限会社 大一配管

2024年7月30日 作成

有限会社 大一配管

企業理念

1. 当社は管工事業・水道設備業を通じて安全で快適な生活環境保全の確保の為、自然環境を尊重し、地球環境の調和を図り、顧客満足として地域社会の発展に貢献する。
2. 地域社会の信用とお客様の信頼を基に常に会社の発展を目指す。
3. お客様のご満足の為、常に最良の技術及び製品・サービスをご提供する。
4. 私達は、お客様に感謝の気持ちを持って、ありがとうと言ってもらえる、いい仕事を目指します



ご挨拶

私達は、管工事業・水道設備工事を通じて、常に安全で快適な水廻りのご提案を目指し、また日々、お客様に喜んでいただけます様な仕事を目指しております。今年で17年目を迎えますエコアクション21を通じて今後も地球環境問題の改善に力を注ぎ、次世代のより豊かな社会の実現に努め、少しでも貢献できる企業を目指しこれからも努めていきます。また環境に配慮した商品の仕入れ・提案・販売にも力を注ぎ、少しでも社会に貢献出来ます様、努力をしております。

2023年6月1日

有限会社 大一配管 代表取締役 大工原 健

事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表社名

有限会社 大一配管
代表取締役 大工原 健

(2) 所在地

本社： 静岡県焼津市南小川一丁目12番地の20 TEL 054-624-4217
倉庫・資機材置場：静岡県焼津市南小川一丁目12番地の23

(3) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 大工原 健
連絡先 TEL：054-624-4217 / FAX: 054-624-4238
E-mail : info@daiichi-haikan.co.jp
http://www.daiichi-haikan.co.jp/

(4) 事業内容

建設業（管工事業・水道施設工事業） 静岡県知事許可（般3）第18872号
浄化槽工事業者届出番号 静岡県知事（届7）第06-061号
産業廃棄物収集・運搬処理業 第02201196324号（自社運搬のみ）
焼津市上下水道指定工事業者 藤枝市上下水道指定工事業者
島田市上下水道指定工事業者 吉田町上下水道指定工事業者
牧之原市上水道指定工事業者 大井上水道企業団指定工事業者

- 公共事業工事 上下水道給排水衛生設備工事
 合併浄化槽工事 住宅設備機器

管工事施工管理技士	2名
土木施工管理技士	1名
給水装置工事主任技術者	5名
下水道排水設備工事責任技術者	3名
配管技能士	4名
浄化槽設備士	2名
職長・安全衛生責任者	1名
建設業経理事務士	1名

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事等の件数	件	52	58	60	58	56
従業員	人	10	10	9	9	9
事務所床面積	m ²	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5
倉庫床面積	m ²	207.5	207.5	207.5	207.5	207.5
資機材置場面積	m ²	237.9	237.9	237.9	237.9	237.9

(6) 事業年度 6月～5月

※ 環境経営レポートの対象範囲は全活動範囲とする。

(7) 対象範囲 全組織・全活動

環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社 大一配管は、安全で快適な生活環境の確保の為、地球環境の保全を重要課題の一つと位置付け、管工事業の事業活動を通じて地球環境の保全と事業経営の向上、そして次世代のより豊かな社会の実現に努め、貢献できる企業を目指します。

【経営基本方針】

当社は、環境理念に基づき、事業活動における環境負荷の低減及び経費の削減を積極的・継続的に取組む為、行動指針を下記の様に定めます。

- 1、事業活動において常に環境に配慮し、課題とチャンスを踏まえつつ地球環境保全の推進に努めます。
- 2、環境負荷の低減と環境改善を図る為、下記の項目について重点的に取組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量(電力・化石燃料)の削減
 - ② 管工事業における廃棄物の削減と資材等のリサイクルの促進
 - ③ 水資源使用量の適正な管理
 - ④ 環境に配慮した事業活動の推進を目指します。
- 3、環境関連法規等を遵守します。
- 4、すべての社員に対して、上記方針を周知し、環境経営の継続的な改善と環境保全の意識の向上の定着に努めます。

改定⑫ 2023年6月1日

制定 2007年11月1日

有限会社 大一配管

代表取締役 大工原 健

目次

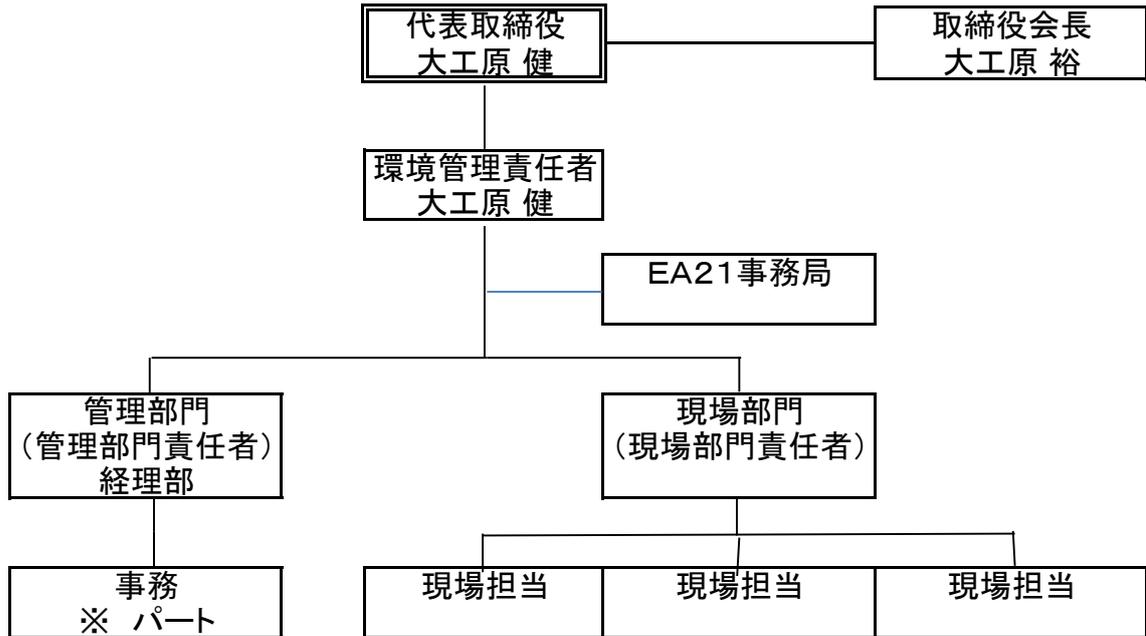
● 有限会社 大一配管 企業理念	1
ご挨拶		
● 事業活動の概要	2
事業者名及び代表者名		
所在地		
環境管理責任者及び連絡先		
事業内容		
事業の規模		
事業年度 6月～5月		
対象範囲		
● 環境経営方針	3
環境経営理念 経営基本方針		
● 目次	4
● 実施体制の構築	5
環境経営システム実施体制図(組織図)		
責任と役割及び権限		
● 環境経営目標とその実績	6
● 環境経営活動計画の内容	7
産業廃棄物保管場所の掲示板の設置		
表示シール等の取付例		
環境に配慮した商品の取付施工について		
● 環境経営活動の取組結果の評価	12
二酸化炭素排出量		
廃棄物排出量		
環境に配慮した商品(節水型便器・節湯水栓・浄化槽)の施工		
水資源排出量		
● 次年度の取組内容(環境経営活動の取組結果の達成手段計画書)	16
● 環境関連法規等の遵守状況の確認及び	17
評価の結果並びに違反・訴訟等の有無		
● 代表者による全体の評価と見直し指示	18

実施体制の構築

文書類7

環境経営システム実施体制図(組織図)

★ 有限会社大一配管 ★



○ 責任と役割及び権限

代表者	環境経営方針の作成 環境管理責任者を指名する 経営資源(人材・資金・技術)の用意をする 実施体制の構築 システムを見直し、指示
環境管理責任者	環境負荷及び取組の自己チェックを行なう 環境目標の設定を行なう。 環境目標の達成状況を取りまとめる 代表者へ達成状況を報告する
管理部門責任者	月ごとの実績数値の算出を行なう 事務所全体の環境活動の推進
現場部門責任者	現場より出された産廃物の分別チェック 現場担当者への取組の徹底
会長	代表者の相談に応じ、適時助言する

改定⑥ 2023年6月1日
制定 2007年11月1日
作成: 大工原 健

環境経営目標とその実績

文書類5、11

目標 2023年6月01日

実績 2024年7月25日

作成: 大工原 健

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

- 環境経営目標(中期目標)・・・2025年度までを定める
 - 二酸化炭素排出量は、2021年度実績を基準として2025年度までに 5%削減を目指す。
 - 廃棄物排出量は、2021年度実績を維持する。
 - 水資源使用量は、2021年度実績を維持する。
 - 環境に配慮した商品の取付施工・・・ 2021年度実績として2025年度までに施工個数を毎年1%増やす。

※ 目標基準値は2021年度の実績よりです。

目標基準値

環境目標	単位	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(目標)	2023年度(実績)	2024年度(目標)	2025年度(目標)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	19677	17843	19382	18274	19185	18693
	%	—	-9.3	-0.15	-0.71	-0.25	-0.5
廃棄物排出量	t	33595	32663	33595	28212	33595	33595
	%	—	-2.8	維持	-16	維持	維持
水資源使用量	m ³	70	68	70	83	70	70
	%	—	-2.9	維持	19	維持	維持
環境に配慮した商品施工 トイレ	個	264	262	269	261	272	275
	%	—	-0.8	2	-1.1	3	4
環境に配慮した商品施工 節湯水栓	個	129	129	132	128	133	134
	%	—	0	2	-7.8	3	4
環境に配慮した商品施工 浄化槽	台	37	38	38	33	38	38
	%	—	2.7	2	1.1	3	4

- ※ 2021年度実績の%は目標基準値対比である
- ※ 電力のCO₂排出係数は 0.452Kg-CO₂/kwhを使用する(中部電力2018年度)
- ※ 二酸化炭素排出量の内訳は、P12参照

環境経営活動計画の内容（2023年度） 2023年6月～2024年5月

文書類6,11

評価 2024年06月30日
 制定 2018年06月20日
 作成者: 大工原 健

① 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標(中期目標)・・・ 二酸化炭素排出量 2021年度実績を基準として2025年度までに 5%削減を目指す。

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール												
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
二酸化炭素排出量 2021年度比で 0.5%削減	エアコンの設定温度の決定・実行	佳織	芳村	周知徹底・実施(冷房)						清掃・見直し		周知徹底・実施(暖房)				評価・実施
	使用していない蛍光灯は消す	佳織	吉永	表示シールの確認 実施												評価・実施
	アイドルングストップの徹底	中村	南條	周知徹底 実施(毎月会議内で呼びかけ)												評価・実施
	各車の燃費の把握と走行距離のチェック	中村	伊東	周知徹底 毎月会議内で呼びかけ												評価・実施
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/15○	8/18○	9/15○	10/20○	11/21○	12/25○	1/11○	2/13○	3/15○	4/13○	5/15○	6/30○	

② 廃棄物排出量の削減

環境経営目標(中期目標)・・・ 廃棄物排出量 2021年度実績を維持する。

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール												
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
廃棄物排出量 2021年度比で 維持	ごみの分別・削減	大工原	吉永	表示プレートの確認 周知徹底・実施												評価・実施
	段ボール・紙の分別	大工原	佳織	表示プレートの確認 周知徹底・実施												評価・実施
	塩ビ管・鋼管の分別	南條	伊東	表示プレートの確認 周知徹底・実施												評価・実施
	コピー用紙の削減・裏面使用	佳織	芳村	周知徹底・実施												評価・実施
	建設混合廃棄物の分別・削減	大工原	南條	周知徹底・実施												評価・実施
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/15○	8/18○	9/15○	10/20○	11/21○	12/25○	1/11○	2/13○	3/15○	4/13○	5/15○	6/30○	

③ 水資源使用量の削減

環境経営目標(中期目標)・・・ 水資源使用量 2021年度実績を維持する。

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール												
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
水資源使用量 2021年度比で 維持	節水を心掛ける	大工原	佳織	周知徹底・実施												評価・実施
	毎月、漏水が無い確認作業を行う	大工原	大工原	確認作業・徹底・実施												評価・実施
	毎月、水栓に不備が無い確認する	大工原	伊東	操作確認 周知徹底・実施												評価・実施
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/5○	8/5○	9/5○	10/6○	11/5○	12/4○	1/7○	2/5○	3/5○	4/6○	5/5○	6/5○	

④-1 環境に配慮した商品(節水型便器)の取付施工

環境経営目標(中期目標)・・・2021年度比で2025年度までに4%増加

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール											
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
節水型便器の販売 2021年度比で 毎年1%増加	毎月の会議で意識付け	大工原	伊東	周知徹底・実施											
	商品説明会・勉強会	大工原	中村			説明会						説明会			
	イベント開催協力	大工原	中村			イベント						イベント			
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/15○	8/18○	9/15○	10/20○	11/21○	12/25○	1/11○	2/13○	3/15○	4/13○	5/15○	6/30○

④-2 環境に配慮した商品(節湯水栓)の施工

環境経営目標(中期目標)・・・2021年度比で2025年度までに4%増加

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール											
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
節湯水栓の販売 2021年度比で 毎年1%増加	毎月の会議で意識付け	大工原	伊東	周知徹底・実施											
	商品説明会・勉強会	大工原	中村			説明会						説明会			
	イベント開催協力	大工原	中村			イベント						イベント			
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/15○	8/18○	9/15○	10/20○	11/21○	12/25○	1/11○	2/13○	3/15○	4/13○	5/15○	6/30○

④-3 環境に配慮した商品(浄化槽)の設置施工

環境経営目標(中期目標)・・・2021年度比で2025年度までに4%増加

環境目標 (2025年度までに)	達成手段	責任者	担当者	実施スケジュール											
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
浄化槽の設置 2021年度比で 毎年1%増加	毎月の会議で意識付け	大工原	伊東	周知徹底・実施											
	商品説明会	大工原	佳織		説明会										
	イベント開催協力	大工原	中村				イベント						イベント		
実施状況評価	手段の実施状況	大工原	佳織	7/15○	8/18○	9/15○	10/20○	11/21○	12/25○	1/11○	2/13○	3/15○	4/13○	5/15○	6/30○

環境経営活動計画の内容

文書類11

	取組項目	活動計画の内容
二酸化炭素 排出量の削減	購入電力量の削減	設定温度の管理 暖房20℃・冷房28℃ 空調の使用期間の管理 消灯の確認・最低限の蛍光灯の使用の徹底
	ガソリン・軽油の 使用量削減	アイドリングストップを心掛ける 駐停車中のエンジンストップの徹底 現場ごとの作業車の台数を減らす努力をする なるべく走行距離を減らせる様、心掛ける
廃棄物 排出量の削減	一般廃棄物の削減	コピー用紙の再使用化に心掛ける コピー用紙の裏面使用の徹底 ゴミの分別・削減を心掛ける 段ボール・紙の分別
	建設副産物の削減	廃棄物の分別化 廃材の削減に心掛ける 塩ビ管・鋼管の端材の削減と再利用の徹底 マニフェストの管理
環境に配慮した 商品の販売	環境に配慮した商品 の仕入・提案・販売	毎月の会議で意識付け 商品説明会等で商品知識を高める



●産業廃棄物の保管場所に掲示板を設置

掲示板を保管場所の近くの見やすい位置に設置し全社員に徹底させる



節電を心掛けるシールにて意識を高め、最低限の使用を全社員に徹底させる
 エアコンの設定温度 暖房20℃ 冷房28℃



可燃ゴミ・プラごみ スチール・アルミ缶の分別に関しても表示ステッカーを貼り
 全社員に徹底させる



塩ビ管・鉄管等の鉄くずも所定の位置を確保し表示ステッカーにて分別を心掛け
 全社員に徹底させる

環境に配慮した商品の施工について

弊社は日頃より環境に配慮した商品の提案・取付施工に努めております。
お客様への商品のご提案時に主に節水・CO2排出量の削減・環境美化といった商品のご説明と取付施工を心掛けております。

省エネ住宅設備等の設置への呼びかけ
特に節水型トイレ・節湯水栓・合併浄化槽への取替への呼びかけに力を入れていきます。

●節水型トイレ

従来型便器の洗浄水量 10L から 4. 8L(3. 8L) へ節水技術がなされた便器のご提案から取付施工まで行なっております。

●節湯水栓

従来型水栓に比べて35%の節水やシングルレバーによるお湯の無駄遣いを軽減するエコ水栓へのお取替えのご提案から取付施工まで行なっております。

●合併浄化槽

単独浄化槽に比べて放流水質を8倍以上改善。BOD90%除去。一家族、一日40gの汚泥を放流すると仮定した場合、単独浄化槽と自然生活排水の放流が32g、合併浄化槽での放流が4gの放流となります。

●節水型トイレの月別取付施工台数

月別	2021年度	2022年度	2023年度
6月	16	15	14
7月	19	18	16
8月	20	18	18
9月	21	21	20
10月	20	19	20
11月	20	19	21
12月	25	25	24
1月	23	25	23
2月	26	27	28
3月	27	28	28
4月	25	24	25
5月	22	23	24
小計	264	262	261

前年度比 99.6%

削減された水の量 1357.2L
(節水量)

●節湯水栓の月別取付施工台数

月別	2021年度	2022年度	2023年度
6月	11	10	11
7月	12	10	11
8月	11	11	12
9月	10	9	10
10月	12	10	9
11月	10	11	9
12月	14	15	13
1月	10	12	11
2月	9	10	10
3月	15	14	13
4月	8	7	8
5月	7	10	11
小計	129	129	128

前年度比 99.2%

従来品に比べ35%の水の使用量の削減

●合併浄化槽の月別設置施工台数

月別	2021年度	2022年度	2023年度
6月	2	3	3
7月	3	2	2
8月	3	3	2
9月	4	3	2
10月	2	2	3
11月	2	3	2
12月	3	2	2
1月	3	4	4
2月	6	7	5
3月	3	2	2
4月	3	3	3
5月	3	4	3
小計	37	38	33

前年度比 86.8%

従来品に比べ8倍以上の水質改善

環境経営活動の取組結果の評価と次年度の取組内容

評価 2024年07月22日

制定 2017年11月01日

作成: 大工原 健

① 二酸化炭素排出量

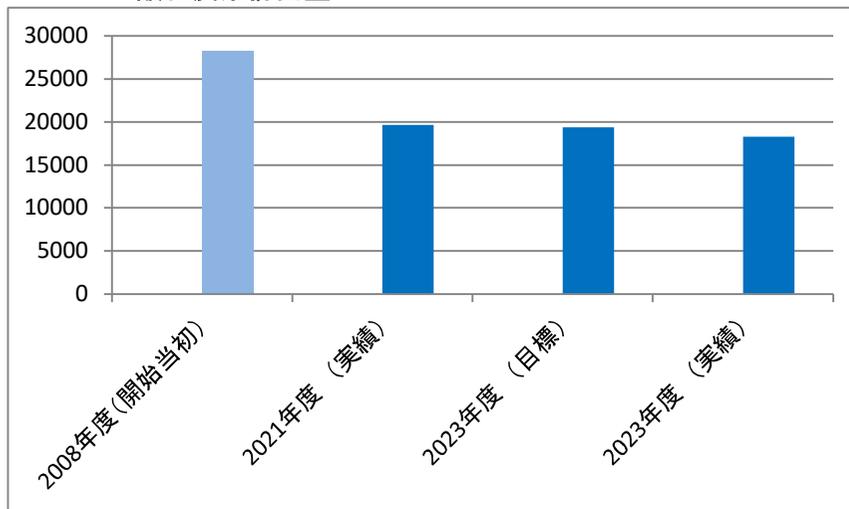
	単位	2008年度(開始当初)	2021年度(実績)	2023年度(目標)	2023年度(実績)	目標達成率	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	28308	19677	19382	18274	105.7%	○
購入電力	kg-CO ₂	4611	3076	3030	3274	91.9%	△
都市ガス	kg-CO ₂	86.3	66.96	66.96	54	119.3%	○
ガソリン	kg-CO ₂	18557	14519	14301	13759	103.8%	○
軽油	kg-CO ₂	5054	2015	1985	1186	140.3%	○

※100%以上... ○
 100%~90%以上... △
 90%未満... × とします

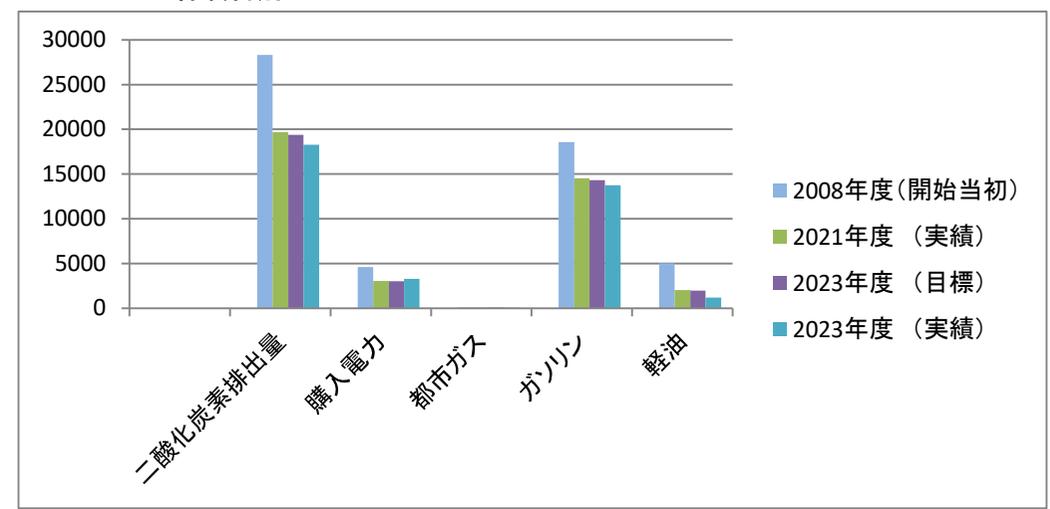
※比較の為、開始当初(2008年度)を記載

(目標/実績)

二酸化炭素排出量



各項目別



取組結果

● 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量の全体では、目標に対し 5.7%の削減が出来ました。

今年度は一年を通じ、仕事量に波がございました。また夏の猛暑と冬の寒波によりエアコンの使用量も多くなってきました。

事務職を中心に、無駄な電気を消したり、エアコンと扇風機の併用や効率的な使用等、細かな事を少しずつ積み重ねては来ましたが結果的に購入電力の削減にはなりませんでした。

ガソリンの使用量ですが、今年は仕事量に波があり、忙しくない時には車の台数等、効率の良い現場移動を心掛けたり、アイドリングストップを心掛けたりしながら意識を高めていきまた多忙な時期も出来る限り、効率の良い現場移動を心掛けたりと結果的にガソリンの使用量も削減することが出来ました。

軽油の使用量は仕事の効率化を考え今年も削減することが出来ました。

また都市ガスの排出量は全体的に使用量が少なく、些少の差で評価が変動する為、維持管理項目として今後も改善していきます。

二酸化炭素排出量の削減は仕事内容や仕事量により変動してきますが、今後も効率よく削減が出来ます様、社員全員で周知徹底していきます。

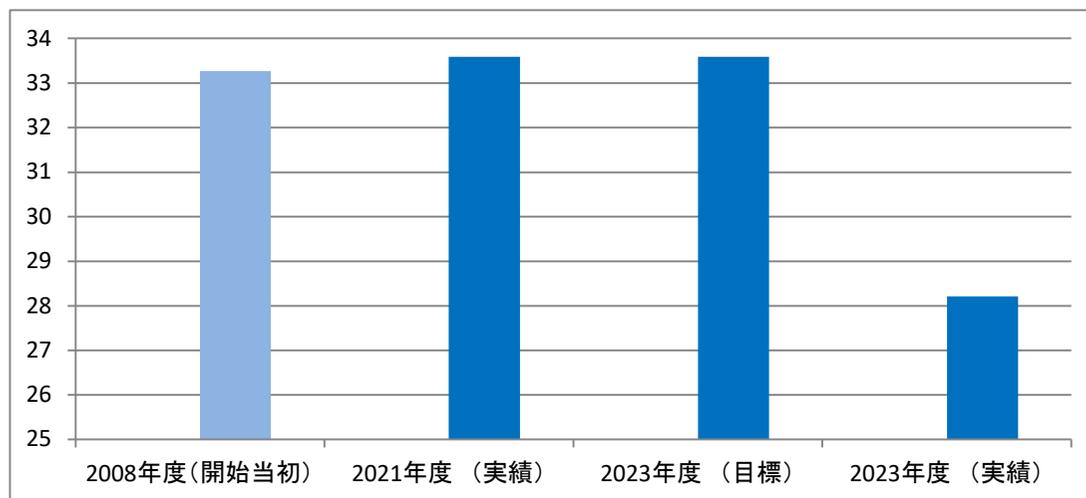
② 廃棄物排出量

	単位	2008年度(開始当初)	2021年度(実績)	2023年度(目標)	2023年度(実績)	目標達成率	評価
廃棄物排出量	t	33.260	33.595	33.595	28.212	116%	○

※100%以上・・・○
 100%～90%以上・・・△
 90%未満・・・× とします

※比較の為、開始当初(2008年度)を記載

廃棄物排出量



取組結果

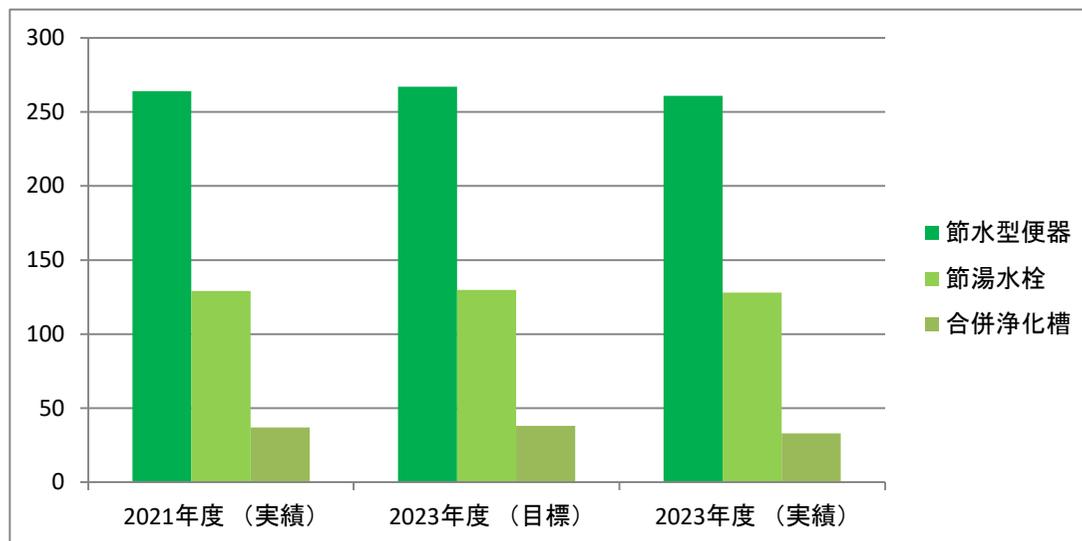
● 廃棄物排出量

廃棄物排出量は、今年も仕事量や内容によって変動がありましたが全体的には16%の削減が出来ました。建設資材費等の大幅な値上げが今なお続いておりますし、なるべく端材を出さない工夫をしたり、効率的な作業が求められます。一般廃棄物の方は昨年度とそれほど変わりなく 分別も出来ており削減の意識も出来てきていると思います。これまで取り組んできた経験を活かし、今後も廃棄物排出量を削減出来る様、周知徹底をし、意識向上に努めていきたいと思ひます。

③ 環境に配慮した商品(節水型便器・節湯水栓)の取付施工

	単位	2021年度 (実績)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)	目標達成率	評価
節水型便器	個	264	267	261	97.8%	△
節湯水栓	個	129	130	128	98.5%	△
合併浄化槽	個	37	38	33	86.8%	×

※100%以上・・・ ○
 100%～90%以上・・・△
 90%未満・・・ × とします



取組結果

● 環境に配慮した商品(節水型便器・節湯水栓)の取付施工

節水型便器・節湯水栓の取付施工は共に今年も目標値まで数値を伸ばす事が出来ませんでした。

弊社の設備工事全般の仕事量が少し減少した為に取付施工量も減少してしまいました。

合併浄化槽の設置施工台数は今年は減少してしまいました。こちらも仕事量の減少に伴い、目標値まで伸ばす事が出来ませんでした。

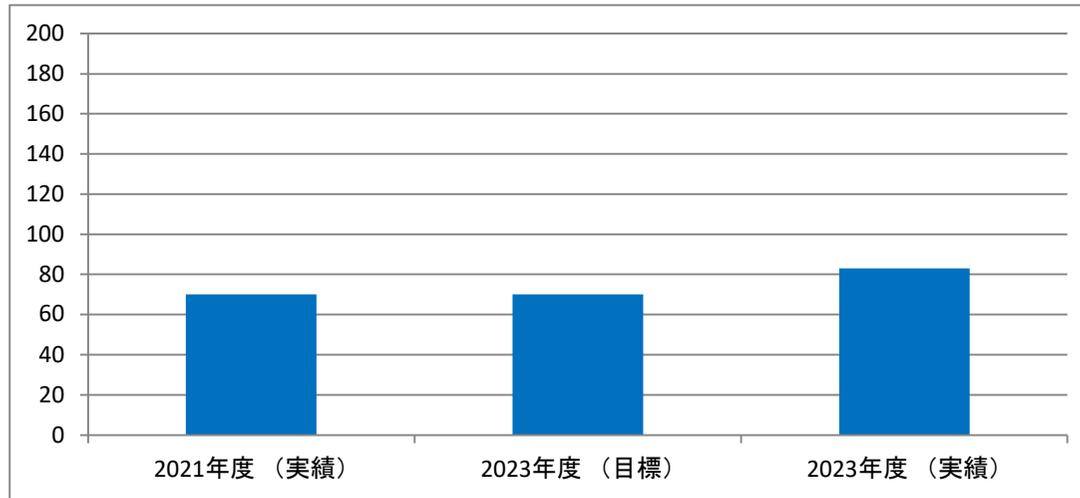
環境に配慮した事業の推進としてこの環境に配慮した商品のご提案・取付施工を今後も進めていきたいと思っております。

今後も最新の商品知識も高め、さらなる周知徹底をしていき、一人でも多くの方に環境に配慮した商品のご提案・取付施工をしていきたいと思っております。

④ 水資源使用量

	単位	2021年度（実績）	2023年度（目標）	2023年度（実績）
水資源使用量	m ³	70	70	83

水使用量



- 水資源排出量は今年は、少し増えてしまいましたが使用量的には少なく、今後も維持管理項目とする。

● 二酸化炭素排出量の削減

	達成手段	責任者	担当者	実施項目
購入電力量	エアコンの設定温度の決定	大工原	吉永	6月~9月 冷房使用期間 12月~3月 暖房使用期間の周知徹底 10月・5月の定期清掃 毎月の購入電力量の確認
	使用していない部屋の蛍光灯は消す	大工原	芳村	全社員への呼びかけ・意識付け (通年) 毎月の購入電力量の確認
	残業時間を減らす	大工原	佳織	全社員への呼びかけ・意識付け (通年) 仕事の効率化を周知徹底(通年)
都市ガス	維持管理項目として引き続き改善	大工原	佳織	
ガソリン・軽油	各車の走行距離のチェック	大工原	佳織	毎月の会議内で呼びかけ 毎月、走行距離の確認
	アイドリングストップの徹底	大工原	伊東	毎月の会議内で呼びかけ 周知徹底
	各現場ごとの使用車両の削減	大工原	中村	毎日の終礼時にて翌日の確認 毎月の会議内で呼びかけ
	効率的なルートでの車両移動	大工原	松田	毎月の会議内で呼びかけ 周知徹底

● 廃棄物排出量の削減

	達成手段	責任者	担当者	実施項目
廃棄物排出量	各分別・削減	大工原	吉永	毎月の会議で呼びかけ 周知徹底 表示プレートの確認
	コピー用紙の削減・裏面使用	佳織	芳村	毎月の会議内で呼びかけ 片面使用のコピー用紙置場設置 出来る限りデータ処理・保存を心掛ける
	端材を残さない施工	大工原	松田	毎月の会議内で呼びかけ 毎月、現場担当との話し合い

● 環境に配慮した商品(節水型便器・節湯水栓)の取付施工

	達成手段	責任者	担当者	実施項目
節水型便器・節湯水栓の販売	商品説明会・勉強会	大工原	佳織	メーカーよりメール等での説明会の実施(7月・1月予定) 毎月の会議内で呼びかけ
	イベント開催時の協力	大工原	中村	お取引先のイベントへの参加(8月・1月実施予定)

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反・訴訟等の有無

文4

当社における遵守しなければならない主な環境関連法規は以下の通りです。

一覧表作成 2007年11月1日

改9 2024年6月20日

作成者：大工原 健

関連法規の名称	関連部署	規制詳細	遵守状況		備考
水道法(給水装置)	設計・工事	指定給水装置工事業者の登録・更新 使用資材の構造・更新	○	6/1	給水装置主任技術者
下水道法(排水設備)	〃	排水設備指定工事業者の登録・更新 水質基準、使用資材の構造・材質基準	○	5/25	排水設備責任技術者
浄化槽法	工事・事務	浄化槽工事業者の登録・更新 浄化槽の施工方法	○	4/20	浄化槽設備士
浄化槽法	管理職	保守点検及び清掃、検査の実施	○	3/20	環境管理責任者
廃棄物処理法	管理職	廃棄物の適正な処理	○	5/31	環境管理責任者
	〃	運搬・処分業者との委託契約	○	5/25	〃
	〃	マニフェストの管理(発行・保管)	○	5/31	〃
	〃	管理票交付状況の報告	○	6/1	6月末、届け予定
静岡県産業廃棄物の適切な処理に関する条例	管理職	委託先処理状況の現地確認	○	6/20	環境管理責任者
騒音・振動規制法	管理職	該当重機等を使用した場合の届け出	○	6/2	該当なし
静岡県生活環境の保全等に関する条例	管理職	該当重機等を使用した場合の届け出	○	6/20	該当なし
フロン排出抑制法	工事・事務	空調機の簡易点検(3か月に1回)	○	3/10	環境管理責任者
家電リサイクル法	管理職	エアコンの更新	○	5/31	該当なし
自動車リサイクル法	〃	営業用・工事用車両の廃棄	○	5/31	該当なし
建設リサイクル法	〃	建設副産物のリサイクル化	○	5/31	該当なし

- 上記の通り、当社における環境関連法規の遵守状況を確認しました所、違反はありませんでした。
- また関係機関から違反の指摘はありませんでした。(過去3年間)訴訟もありませんでした。

記3

遵守全体確認
確認者：大工原 健

2024年6月25日

代表者による全体の評価と見直し指示

文類14

記入者氏名 大工原 健

作成年月日 2024. 7. 25

見直し 関連情報	項目		確認	必要に応じ評価・コメントを記載
	1	エコアクション21 文書類15種類	○	問題なし(今後も作成者、作成日は明確に)
	2	環境目標及び目標達成状況	○	一部を除き達成できた
	3	環境活動計画及び取組実施状況	○	一部を除き達成できた
	4	環境関連法規要求一覧及び厳守状況	○	遵守出来た(今後も全員が遵守する)
	5	外部コミュニケーション・対応記録	○	苦情・要望なし
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○	電力使用量の削減の努力・是正処置 報告書の作成。記録あり
	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部機関	△	声掛け・ご説明・ご提案は出来ている これからもっと活用していきたい
	8	その他	○	猛暑・寒波での体調管理対応
代表者による 全体の評価と見直し の指示	全体の評価・コメント (環境経営システムの 有効性、環境への 適切性等)		エコアクション21の試みが今年で17年目を迎えましたが、開始当初からの数値に 比べかなり削減が進んできていると思います。日々、忙しい中ではありますが、 一つ一つの積み重ねが大切であると感じております。今年は無印コロナ対策から 生活スタイルも変わり、対応をしながら仕事量・売り上げの向上に努めてきましたが 仕事量の減少により売上、商品の目標値を達成することが出来ませんでした。 今後もエコアクション21を通じ、経費を削減出来るものは削減し、仕事量の増加に 努め、環境経営システムに生かしていきたいと思っております。 今後も環境経営理念に基づく地球環境の保全に貢献できる企業を目指して いきます。	
	見直し項目		変更の 必要性	変更有の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	2	環境経営目標・計画	<input checked="" type="radio"/> 有 無	必要に応じ削減・追加をし、改善をはかる
	3	環境経営活動計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有 無	必要に応じ削減・追加をし、改善をはかる
	4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無	関連する文書類を内容も検討し変更する事
	5	その他のシステムの要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	6	その他(外部への対応等)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

2024年7月25日実施

有限会社大一配管

代表取締役

大工原 健

取締役会長

大工原 裕